

豊田市森づくり基本計画見直しにあたって

第1次森づくり基本計画（平成19年10月策定）

- ・計画期間：平成20～29年度
- ・重点プロジェクトにより10年間で25,000haの間伐
- ・森林区分を決めて、針広混交移行林へは手厚い補助による間伐推進

豊田市100年の森づくり構想

平成39年度末までに、過密人工林を一掃する。

間伐面積の伸び悩み

平成20年度から4年間の間伐実績→5,540ha
（計画7,730haに対して72%の達成率）

間伐面積実績

	H20	H21	H22	H23	H20～H23 累計
計画値(ha)	1,530	1,790	2,050	2,360	7,730
実績値(ha)	1,276	1,477	1,403	1,383	5,540
達成率	83%	83%	68%	59%	72%

原因

国・県の施策の変化

- 「森林・林業再生プラン」（国）（H21年12月）
切置き間伐から利用間伐へ（制度の複雑化）
- 「あいち森と緑づくり事業」（県）（H21年度～）
針広混交移行林への優遇策の不明瞭化

計画対象地の未精査

- 間伐不要の90年生以上の人工林が含まれている。
- 計画対象森林に県有林、農林公社等が管理する人工林が入っており、市が関与できない。

基盤整備（体制づくり、人材育成、林業用路網整備等）の未熟成

5年ごとの見直し

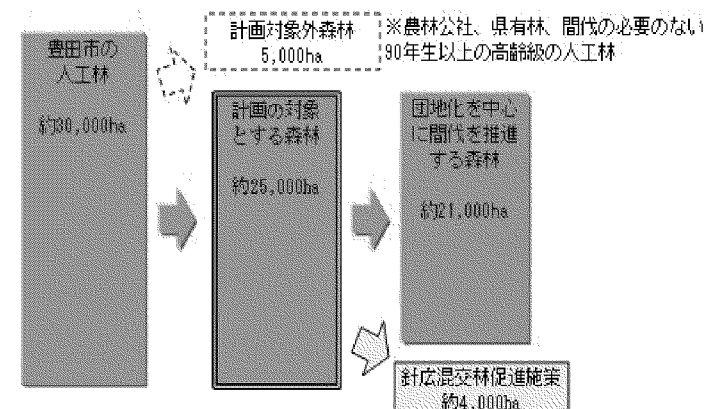
（森づくり条例第18条第2項）

第2次森づくり基本計画策定の方向性

第1次計画をベースとしつつ、市として努力できる計画対象地を精査し、現在推進している各重点プロジェクトについてさらに熟度を高め、森づくりを推進する。

また、針広混交林促進施策を新たに検討しつつ、国や県の動向との整合をとる。

計画対象森林の精査



○第2次森づくり基本計画の主な施策

重点プロジェクト

1 間伐推進プロジェクト

針広混交林促進施策

10年間の間伐面積 25,000→18,000ha

針広混交林化を加速化させるための促進策を新たに検討、実施する。

2 団地化促進プロジェクト

人工林のまばらな地域は目標値から除いた

森づくり会議数（最終的な設立会議数目標）
231→170
森づくり団地計画樹立面積（10年後）
15,000ha→15,750ha

3 林業労働力確保プロジェクト

新たな労働力確保を検討する

緑の雇用担い手対策事業研修生
10人/年→変更無し
セミプロ育成受講生
10人/年→変更無し

4 林業用路網整備プロジェクト

低コストな路網へシフト

新規路網整備延長
35km/年→28km/年

5 素材生産の効率化・低コスト化プロジェクト

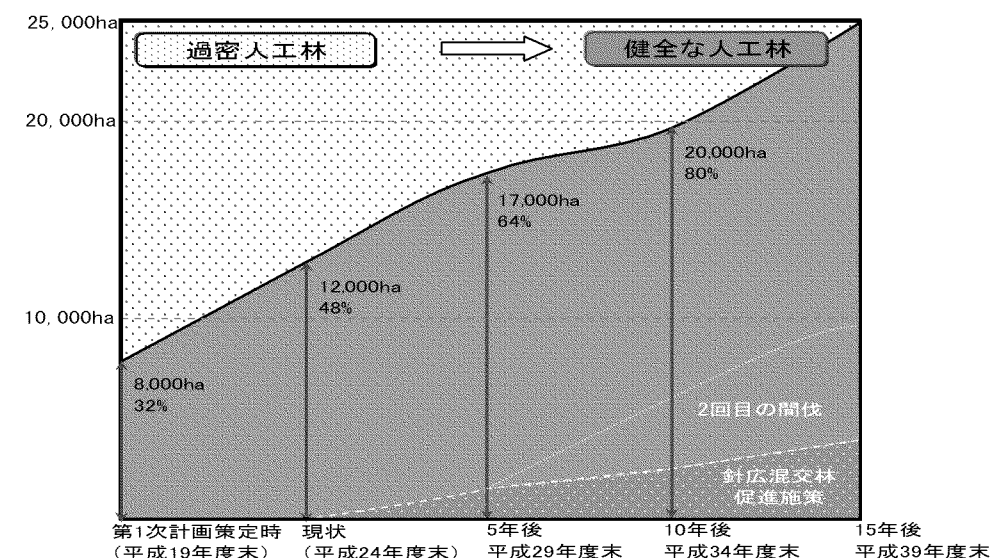
「豊田市公共建築物等の木材利用の促進に関する基本方針」に即した内容に。

伐採・搬出コスト
8,000円/㎡→変更無し
利用間伐面積
610ha/年→333ha/年
間伐に伴う素材生産量
3.6万㎡/年→3.84万㎡

6 木材利用促進プロジェクト

公共工事における地域材使用量
1,000㎡→変更なし

健全な人工林の推移イメージ図



18,000haの間伐と
針広混交林促進施策による間伐卒業林の加速